

東奥日報

2023年(令和5年)9月20日(水曜日) (17)



六ヶ所

六ヶ所村の第一中学校(藤川俊彦校長)の2年生約30人がこのほど、同校を訪れた八戸工業大学の女性研究者に教わり、水の硬度を調べる体験実習に取り組んだ。写真は、生徒たちは実験を楽しみながら、観察や計測をして分析を深める理系科目の奥深さに触れた。

実験は、硬度の違う3種類の水について、薬品を入れて色の変化を観察し、含まれているカルシウムの量を調べた。生徒たちはピンク、青と鮮やかに変化する溶液に目を凝ら

理系科目 奥深い 一中生が体験学習

し、真剣な表情で実験結果を分析した。澤頭まひろさんは「実験と計算の結果で知らなかったことが分かるのは面白く、理系に興味を引かれる体験でした」と語った。

また、全校生徒約80人を対象に、理系の学びやキャリアの多様性を紹介する座談会も開催した。

実習と座談会は、同大女性教職員でつくる団体「HIT(ヒット)リケジョLABO(ラボ)」の活動の一環。会長の鮎川恵理准教授は「性別にかかわらず、理系の楽しさ、働き方の魅力を広めたい」と話した。

(新村菜穂)

※「この画像は該当ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」